

令和元年度企画展「あれもE これもE ー加曽利E式土器（印旛地域編）ー」を開催します

加曽利貝塚博物館では、令和元年度企画展「あれもE これもE ー加曽利E式土器（印旛地域編）ー」を開催しますので、お知らせします。

1 概要

大正13年、加曽利貝塚の発掘調査ではじめて発見された「加曽利E式」土器は、その後、関東の縄文時代中期を代表する土器型式として認識されています。

平成30年度に開催した企画展「あれもE これもE ー加曽利E式土器（千葉市内編）ー」では、千葉市内の遺跡から出土した加曽利E式土器を展示・紹介しました。

2回目となる今年度は、千葉市の北東に位置する印旛地域をテーマに、千葉市内との特徴の違いについて解説します。

2 開催期間

令和元年11月16日（土）～令和2年3月1日（日） 合計87日間

3 開館時間

9：00～17：00（最終入館16：30）

4 休館日

毎週月曜日（1/13・2/24は祝日のため開館し、1/14・2/25が休館）
年末年始（12/29～1/3）

5 展示場所

加曽利貝塚博物館 企画展示スペース（若葉区桜木8-33-1）

6 観覧料

無料

7 展示の見どころ

本展示のテーマ地域である「印旛地域」は、千葉市と接する佐倉市や四街道市を含み、加曽利貝塚と自然環境的にも近似する地域です。加曽利貝塚のムラの人々も往来したであろう地域の土器と文様等の特徴を比較することで、地域間の交流等について探ります。

8 展示資料

計46点の資料を前半（1/10まで）・後半（1/11から）に分けて展示。

- (1) 佐倉市 (21点)
 寺崎一本松遺跡、生谷境堀遺跡、吉見台遺跡、池向遺跡、坂戸念仏塚西遺跡、
 六崎貴舟台遺跡、神門房下遺跡、宮内井戸作遺跡、内田端山越遺跡、
 江原台遺跡
- (2) 酒々井町 (7点)
 墨木戸遺跡、墨新山遺跡
- (3) 印西市 (4点)
 松崎Ⅲ遺跡、松崎Ⅵ遺跡、馬込遺跡
- (4) 四街道市 (6点)
 上野遺跡、南作遺跡、中山遺跡
- (5) 成田市 (8点)
 キサキ遺跡、長田雉子ヶ原遺跡、久井崎Ⅱ遺跡、新山台遺跡

9 関連行事「縄文時代研究講座」

- (1) 開催日・テーマ・講師 (敬称略)
- ア 令和元年12月15日 (日)
 「県内他地域からみた加曽利貝塚の様相－印旛地域との比較－」
 講師 米倉 貴之 (千葉市教育委員会 加曽利貝塚博物館 学芸員)
- イ 令和2年1月19日 (日)
 「加曽利E式に伴う非在地系土器－房総半島の曾利式系土器について－」
 講師 大内 千年 (千葉県教育庁教育振興部文化財課 発掘調査班長)
- ウ 令和2年2月23日 (日)
 「印旛地域の加曽利E式土器」
 講師 小倉 和重 (公財) 印旛都市文化財センター 庶務課長補佐兼調査係長)
- (2) 会場・時間 (各日共通)
 千葉市生涯学習センター小ホール (中央区弁天3-7-7)
 10:30～12:00 ※事前申込不要

10 添付資料

企画展ポスター

<参考>

加曽利E式土器とは

大正時代に行われた加曽利貝塚の発掘調査では、調査場所をアルファベットで区分けしており、E地点は北貝塚の南東部分にあたります。そこではじめて発見された土器を、出土した地点名をつけて「加曽利E式」土器と設定しました。

本企画展で展示する一部の土器は以下のとおり。



加曽利E I式深鉢
 (墨木戸遺跡出土)



加曽利E IV式注口土器
 (六崎貴舟台遺跡出土)



加曽利E II式深鉢
 (南作遺跡出土)



加曽利E III式深鉢
 (長田雉子ヶ原遺跡出土)